

地域医療推進講座

1. 領域構成教職員・在職期間

特命教授	寺澤 秀一	H29.4.1から現職
講師	山村 修	H22.5.1から現職
助教	北野 史浩	H22.5.1から現職

2. 研究概要

研究概要

地域医療についての臨床教育、研修システムの研究および構築
 福井県内の医師、研修医の確保に関する研究および取組
 福井県における医師需給状況等について福井県との連絡調整、医師不足公的医療機関等への医師派遣
 在宅医療についてのシステム研究および構築

キーワード

地域医療、臨床教育、研修、研修医、医師派遣、在宅医療

業績年の進捗状況

1. 医師や医学生のキャリア形成支援

① 研修医、医師を対象とした臨床教育の実施

- ・県内各臨床研修6病院で臨床研修出張講義を年間74回実施した。
- ・県内の医療機関にて若手医師等の相談対応や指導を年間50回実施した。
- ・嶺南・嶺北医療機関において勉強会を6回実施した。
- ・テレビ会議システムを活用とした臨床教育、コアレクチャーを年間10回配信した。
- ・福井県救急医・家庭医養成（後期研修医）キャリアアップコースの研修指導を行った。

② 奨学生（福井県医師確保修学資金および嶺南医療振興財団奨学金貸与）等の卒前・卒後教育、キャリア形成支援

- ・奨学生を対象に「福井県学生地域夏期研修2020」を8月21日に開催。6名の参加。
- ・県奨学生のキャリアアッププログラムの検討・作成を行った。
- ・卒後2年目の奨学生に対して進路等の個別面談を行った。

2. 情報発信

- ・医師確保の取組みとして病院合同説明会を令和3年2月27日にオンラインにて開催。
- ・県内医療施設の後期研修プログラムの広報活動を行った。

3. 調査・分析

- ・県内医療機関の医師不足を分析するため各指標について扱い易さや有効性について検討を行った。

4. その他

- ・福井県内の医療過疎地域などにおけるフィールドワーク研修を実施した。
- ・三方上中郡若狭町三宅地区にて、令和2年12月19日～20日に開催。42名の参加。
- ・永平寺町立在宅訪問診療所にて、令和3年3月10日・24日に開催。3月10日は6名、3月24日は7名の参加。

特色等

福井県内の地域医療の充実を図るため、魅力ある研修システムおよび医師派遣システム等に関する研究・構築を行うとともに、その研究成果の普及を行い、地域に必要な医師確保等、福井県の地域医療の推進に寄与している。

本学の理念との関係

地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的かつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践することを目的とする。優れた教育、研究、医療を通して地域発展をリードし、豊かな社会づくりに貢献することを目的とする。

3. 研究実績

区分	総数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2014～2019年分	2020年分	2014～2019年分	2020年分
和文原著論文	11	1	—	—
	ファーストオーサー	2	1	0.05(0.05)
英文論文	0	1	0(0)	0.05(0.05)
	コリステイニングオーサー	4	4	17.526(17.526)
	その他	6	5	0(0)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2092001

Hidenori Onishi, Osamu Yamamura, Shinsaku Ueda, Muneichi Shibata, Soichi Enomoto, Fumie Maeda, Hiromasa Tsubouchi, Takeshi Hirobe, Sadao Shimizu, Takahiro Kishimoto, Hiroshi Chiba, Kazuhiro Sasaki, Kazuhiko Hanzawa, Tadanori Hamano, Yasunari Nakamoto, Bunji Kaku, Hidekazu Terasawa: Deep-vein thrombosis detection rates and consideration of the living environment in a tsunami disaster area during the disaster reconstruction phase: A cross-sectional study, ACTA ANGIOLOGIA, 26(4), 129-139, 20210322, DOI: DOI: 10.5603/AA.2020.0025, #0.05

2092002

Lee S, Fujita K, Morishita T, Negoro E, Oiwa K, Tsukasaki H, Yamamura O, Ueda T, Yamauchi T.: Prognostic utility of a geriatric nutritional risk index in combination with a comorbidity index in elderly patients with diffuse large B cell lymphoma, Br J Haematol., 192(1), 100-109, 202101, DOI: 10.1111/bjh.16743, #5.518

2092003

Hama Y, Hamano T, Shirafuji N, Hayashi K, Ueno A, Enomoto S, Nagata M, Kimura H, Matsunaga A, Ikawa M, Yamamura O, Ito T, Kimura Y, Kuriyama M, Nakamoto Y: Influences of Folate Supplementation on Homocysteine and Cognition in Patients with Folate Deficiency and Cognitive Impairment, Nutrients, 12(10), 3138-3138, 20201014, DOI: 10.3390/nu12103138, #4.546

2092004

Kitazaki Y, Ikawa M, Enomoto S, Shirafuji N, Hayashi K, Yamamura O, Yamada S, Arishima H, Noriki S, Nakamoto Y, Hamano T: An autopsy case of tuberculous meningitis undiagnosed by nested-PCR of GSF samples and brain biopsy, J Neurol Sci, 415, 116968-116968, 20200815, DOI: 10.1016/j.jns.2020.116968 (症例報告), #3.115

2092005

Hamano T, Shirafuji N, Yen SH, Yoshida H, Kanaan NM, Hayashi K, Ikawa M, Yamamura O, Fujita Y, Kuriyama M, Nakamoto Y: Rho-kinase ROCK inhibitors reduce oligomeric tau protein, Neurobiol Aging, 89, 41-54, 202005, DOI: 10.1016/j.neurobiolaging.2019.12.009, #4.347

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

- e. 国際会議論文**
- 2092006** Zhu F, Lin G, Hamano T, Kanaan NM, Yen SH, Asano R, Shirafuji N, Sasaki H, Enomoto S, Yamaguchi T, Ueno A, Ikawa M, Yamamura O, Nakamoto Y: Clioquinol reduces tau phosphorylation and oligomerization, *Alzheimer's & Dementia*, 16(Suppl 3), e044356-e044356, 20201207, DOI: 10.1002/alz.044356, #17.127
- 2092007** Yamaguchi T, Hamano T, Sada K, Kanaan NM, Sasaki H, Yen SH, Asano R, Enomoto S, Shirafuji N, Ueno A, Ikawa M, Yamamura O, Nakamoto Y: Syk inhibitor reduces oligomeric tau associated with GSK3 β inactivation and autophagy activation, *Alzheimer's & Dementia*, 16(Suppl 3), e042633, 20201207, DOI: 10.1002/alz.042633, #17.127
- (3) 和文：著書等**
- a. 著書**
- b. 著書（分担執筆）**
- 2092008** 山村修：特集 災害情報の新たなステージへー住宅とともに災害に立ち向かうためにー 「With コロナ時代の避難所の在り方」：土木學會誌, 公益社団法人 土木学会, 32-35, 20201215, 0021-468X
- 2092009** 石本貴美 山村修 辻英明 林寛之：ホスピタリストが日本の医療を変える 福井大学医学部附属病院：「総合診療・総合内科センター」設置で実現した、時代と個のニーズを満たす総合医育成プログラム：Hospitalist, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 784-787, 20201201, 2188-0409
- 2092010** 寺澤秀一, 林寛之, 氏家靖浩：医学生と模擬患者：寺沢秀一・林寛之・氏家靖浩：模擬患者とつくる医療面接 話せる医療スタッフをめざして, 株式会社 ナカニシア出版, 9-13, 20201115, 978-4-7795
- 2092011** 山村修：リレー随筆564「コロナな日々」：福井県医師会だより, 福井県医師会, 18-19, 20201025
- 2092012** 山村修：新型コロナウイルス感染症について 「新型コロナウイルス感染症と軽症者宿泊施設」：福井市医師会会報, 福井市医師会, 50-59, 20200925
- 2092013** 山村修：特集 コロナ時代の災害支援 「濃厚接触者と疑似例の避難と課題」：地域保健, 株式会社 東京法規出版, 12-17, 20200901, 2424-0826
- c. 編集・編集・監修**
- (4) 和文：論文等**
- a. 原著論文（審査有）**
- 2092014** 北崎 佑樹, 浅野 礼, 林 浩嗣, 山村 修, 田邊 佐和香, 瀧野 忠則：胸背部痛を伴わないStanford A型大動脈解離に穿通枝領域の多発性脳梗塞を合併した1例, *臨床神経学*, 60(12), 874-877, 20201201 (症例報告)
- b. 原著論文（審査無）**
- c. 総説**
- 2092015** 石本貴美 山村修 辻英明 林寛之：福井大学医学部「総合診療・総合内科センター」開設, *治療*, 103(3), 256-259, 20210301
- 2092016** 石本貴美, 山村修, 辻英明, 林寛之：「総合診療・総合内科センター」設立で実現した、時代と個のニーズを満たす総合医育成プログラム, *ホスピタリスト*, 8(4), 784-787, 20201201
- d. その他研究等実績（報告書を含む）**
- e. 国際会議論文**
- (B) 学会発表等**
- (1) 国際学会**
- a. 招待・特別講演等**
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- c. 一般講演（口演）**
- d. 一般講演（ポスター）**
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (2) 国内学会（全国レベル）**
- a. 招待・特別講演等**
- 2092017** 寺澤秀一：患者をモンスターにしないために, 第74回 日本臨床眼科学会, 東京都, 20201018
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- c. 一般講演（口演）**
- 2092018** 夢田文子, 山村修：濃厚接触者宿泊施設の運営、福井県新型コロナウイルス感染拡大防止チームの活動, 令和2年度 大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 20210123
- d. 一般講演（ポスター）**
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (3) 国内学会（地方レベル）**
- a. 招待・特別講演等**
- 2092019** 寺澤秀一：話すことあり 聞くことあり～医療を取り巻く環境の変化～, 第20回 日本医療マネジメント学会 福井県支部学術集会, 福井市, 20210213

業績一覧

b. シンポジスト・パネリスト等
2092020 山村修：高齢者施設クラスター対策を巡る話題、第24回 福井県理学療法 学術大会、20201108

- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(4) その他の研究会・集会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	地域住民の救急搬送・緊急入院を視点としたサルコペニア調査研究	山村 修		20200401-20230331	¥2,340,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	パナソニック株式会社	パナソニックライフインフォマティクス共同研究部門	岡沢 秀彦, 山村 修, 木村 浩彦, 尾崎 公美, 上坂 秀樹, 坂井 豊彦, 岩崎 博道, 福井 邦博	20190401-20220331	¥53,487,500

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

(B) 奨学寄附金

受入件数	0
受入金額	¥0

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会	監事	山村 修
避難所・避難生活学会	理事	山村 修
日本脳神経超音波学会	評議員	山村 修
日本栓子検出と治療学会	評議員	山村 修
日本神経学会	災害対策委員	山村 修
日本医療連携研究会	理事	山村 修
日本内科学会	会員	北野 史浩
日本救急医学会	会員	北野 史浩

(C) 座長

国内学会（全国レベル）	学会名	氏名
シンポジウム等	第6回 避難所・避難生活学会シンポジウム	山村修
一般講演（口演）	令和2年度 大学病院情報システムマネジメント部門連絡会議	山村修

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長（主査）・委員の別	氏名	査読編数
----------	-------	--------------	----	------

(E) その他

- 2092021** 山村修：備えるふくい防災最前線 福井大医学部 山村修医師に聞く（福井新聞社）、避難所 コロナ対策急務、20200617
- 2092022** 寺澤秀一：ふくい日曜「時の風」（福井新聞社）、道案内もしくは人生相談、悩み迷う時期こそ大切に、20200614
- 2092023** 山村修：避難所運営 県が手引（福井新聞社）、新型コロナ 複合災害備え、20200523
- 2092024** 山村修：豪雨災害時の避難所 新型コロナ感染防止を学ぶ（福井テレビ）、豪雨災害時の避難所 新型コロナ感染防止を学ぶ、20200522
- 2092025** 寺澤秀一：ふくい日曜エッセー「時の風」（福井新聞社）、ミスが防げる職場づくり、後輩が何でも訊ける先輩、20200412